

運営方針

上下水道は、市民が健康で安全かつ快適な生活を送るうえで欠くことのできない都市基盤施設、ライフラインです。このため、地震や事故に強い上下水道システムの構築を図るとともに、持続可能で安定した上下水道事業の経営を目指し、経営の効率化及び健全化に取り組んでいます。

令和2年度は、平成30年度に策定した「上下水道ビジョン」の確実な推進と持続可能な上下水道事業経営の構築を図ります。上水道については、老朽施設の更新や耐震化事業を進めるとともに、広域化・共同化の検討を進めます。下水道については、未普及地域の解消や下水道管路の長寿命化を進めるとともに、水洗化率の向上と官民連携の拡大を進めます。

重点施策

持続可能で安定した上下水道事業経営の構築

めざす方向

水道事業では、大阪広域水道企業団との統合や近隣市との広域的な連携について具体的な検討を進めます。

下水道事業では、さらなる経営の健全化を進めるため、年度末の水洗化率 96.4%を目指すとともに、官民連携手法により維持管理体制の充実を進めます。

安全で強靱な水道施設の構築

「水道施設整備計画」に基づき、老朽化した基幹施設である西之山配水池の更新のための基本設計や、日野浄水場電気設備の更新など、浄水・配水施設の計画的更新や耐震化を進め、安全で安心した水道水の供給を図ります。

災害時における重要給水管路等の耐震化を進め、年度末の耐震管率 26.3%を目指します。

快適な生活環境を提供するための下水道の整備促進

生活排水のより一層の水洗化を図るため、環境経済部と生活排水処理計画を見直すとともに、汚水処理施設未普及地域の下水道整備事業、ならびに浄化槽整備事業の取組みを進め、年度末汚水処理整備率 95.4%を目指します。

災害時における避難所等に計画的にマンホールトイレを整備します。

安全で安心な下水道施設の構築

「下水道ストックマネジメント計画」に基づき老朽化のすすむ管路施設に対し、長寿命化対策事業（第2期：H28～R2）を推進し、年度末の長寿命化管路更新率 100%を目指します。また第3期に向けた計画（R3～）を策定するとともに滝畑浄化センターの計画的な設備更新を行います。